

江戸城かわら版

認定NPO法人江戸城天守を再建する会

令和8年1月20日

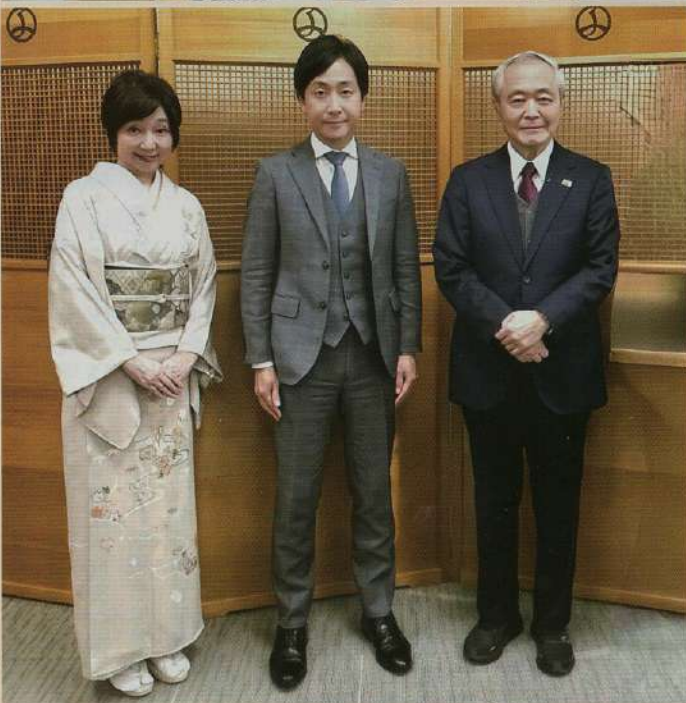


CONTENTS

- 1 〔新春鼎談〕樋口高顕千代田区長と語る
- 4 〔お城エキスポ二〇二五〕江戸城応援隊
- 6 〔江戸文化サロン〕川越城下町散策
- 7 第二回江戸城クルーズ二年ぶり実施
- 7 新作能「小栗」への想いを聞いて下さい
- 7 三浦正幸「名城の天守」③水戸城天守
- 8 黒田源の「べらぼう歴史散策」④
- 10 会員のひろば／事務局からのお知らせ
- 11

新春鼎談 樋口高顕千代田区長と語る

「江戸城天守再建は、夢のあるプロジェクトだ」



鼎談直前の緊張気味の一枚
向かって右から太田会長、樋口千代田区長、高比良理事。千代田区役所で。
この後、歴史と未来に話が弾み、笑顔いっぱいの鼎談に。

当会が事務所を構える千代田区は、江戸城天守再建の要の地でもあります。千代田区役所を訪ね、区長と未来を語り合いました。

NPO 本日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございます。江戸城交流会へのご参加、ご挨拶にも感謝しております。

樋口 こちらこそ。お声がけいただき光栄です。創立20周年の会でしたね。「かわら版」もいつも拝読しています。

高比良 ありがとうございます。区長が二期目の就任挨拶で、「江戸城の跡を中心に形成された私たちの千代田区は」と、「江戸城」

の言葉から話し始められたことに感激いたしました。その後、千代田区として、「伝統と未来が調和し躍進するまち」というビジョンを示されました。

樋口 街並みは、時代とともに姿を変えていきます。木造の町屋が近代建築へ、さらに鉄筋のビルへと建て替わり、高層化も進みました。どの時代の景観が最良かは誰も決められないことだと思っています。ただ、確かに言えることがあります。千代田の地にはかつて江戸城の郭内があったと同時に、人々の暮らしと文化もあり、その営みは途切れることなく受けつがれてきました。

古くからの祭礼文化というと、神田明神の神田祭、日枝神社の山王祭が今も息づいています。江戸時代には將軍家が上覧された「天下祭」として、城内での披露を許されたお祭りでした。こうしたことが今も脈々と続いており、そういうことを大事にする、まちでありたいのです。

太田 私は太田道灌の子孫の一人です。1457年、道灌は各地を巡り、城地を探した結果、江戸の地を選びました。築城前にその地域の百姓に地名を尋ねると、「千代田村」「祝田村」「宝田村」と答えました。道灌は「誠に吉兆な名前ばかり。この城の繁栄疑いなし」と語ったと伝えられています。実際に、その後築かれた江戸城は、戦火で一度も落城したことのない、まことに運の強い城となったのです。

樋口 本場に善き地名ですよ。千代に八千代に稲穂がたなびくような田」という名に相應しく、歴史を受け継ぐ責任がある、と思っています。

太田 お濠を大事にするという方針も打ち出されておられますね。

樋口 はい。内濠は浄化装置の導入により水質が改善されています。千代田区にある緑と水の広大な空間は他の都市にはないものです。ですから、もっと水に親しめる濠に再生していくことで、持続可能な都市にしていきたい、と考えています。

太田 いいですね。ついでに天守も。

樋口 本日の本題ですね。

太田 都市計画の重鎮・伊藤滋先生が、東京駅と日本橋と江戸城を結ぶトライアングルを東京の中心核にするべきと言っておられます。(資料A)

日本橋では高速道路を



地下に移すことが決まりましたし、東京駅も改装が済んでおります。残るは江戸城天守再建だけです。実現すれば将来に素晴らしい文化財を残せるのではないのでしょうか。

高比良 こちらは、当会の特別顧問・三浦正幸先生監修のもと作成した完成予想画像です。(資料B)

樋口 なるほど。こうしたものでできているんですね。

高比良 お城というのは不思議で、現代的な景観の中にもよく溶け込みます。私は地方の学校を訪ねる機会が多いのですが、「東京から来た」と伝えると、子どもたちはよく「〇〇城を見てくれた?」と、地元のお城の話をしてくれます。お城は彼らの誇りなのだ実感します。

樋口 よくわかります。祖父父母は四国の松山出身なので、松山城の



NPOが提示した資料を、笑顔で熱心にご覧になる樋口区長 寛永度天守完成予想CGの前に、明るい未来に思いを巡らせながら話も弾む。

天守が現存していることを誇らしく思っています。街のどこからでも望むことができるお城は、町のアイデンティティを形成し、シビックプライド(市民の誇り)を育むものだと思います。

太田 そういう意味で、私が注目しているのは大阪城の天守です。大阪夏の陣で燃えた後、徳川幕府が造った天守も落雷で失った。そ



樋口高頭
(ひぐち・たかあき)

東京都・千代田区長
2021年2月、千代田区長に就任
2025年2月に再選を果たし、現在、2期目
趣味は読書、茶道、ジョギング

のため、その後の江戸・明治・大正時代には、天守がないままでした。ところが、昭和天皇即位の記念に、大阪市長だった関一氏が何か夢のあることをやろう、と発案し、大阪市民から浄財を集めて天守を建立したのです。それが今では大阪市民の誇りです。

樋口 建築費用もひとつの課題だと思っていました。皆様の支援を受けて実現する方法だと理解が得やすいかもしれませんね。

もう一点、再建への賛否に関わる話題として、保科正之の判断が出てきます。明暦の大火の後、江戸庶民の暮らしの立て直し優先のために天守再建を止めた、と。

太田 この点は、誤解されがちなのですが、保科正之は、「止めた」のではなく「延期」したのです。古文書にも保科が「当分御延引しかるべし」と語った、という記録が残っています。「その時が来る



太田資曉

(おおた・すけあき)

認定NPO法人 江戸城天守を再建する会 会長
NPO法人 太田道灌顕彰会 理事長
太田道灌公第18代子孫
趣味は歴史散策

まで待て」と示し、加賀藩に命じて造った石垣はのこしたのです。私たちはその思いを受けて、今こそ、未来のために天守を建てるべき時だと考えています。

高比良 そういう意味で、平和な世の中の象徴となるように、寛永度の天守を「市民の力」で建てようと呼びかけているのです。

樋口 そういうことであれば、クラウドファンディングなどで、広く支援を集めるようなことができるとよいですね。

高比良 当会では、その可能性の検証も進めております。2024年度は、クラウドファンディングを活用して、中央工学校（北区・建築専門学校）の建築クラブの学生たちに、天守の軸組模型を作ってもらい、お城エキスポで披露し、話題となりました。（資料C）



御苑の観光の目玉にもなっています。（資料D）ただし、このプロジェクトは、最終的に政治が動いてこそ実現するものです。

海外事例では、東京都の友好都市であるベルリン市では、第二次世界大戦中に破壊された王宮の再建が市民団体の発案で実現しました。当会と同じようなNPO団体が再建を提案し、ベルリン市が動

知らないと思います。（資料E）国内の事例としては、武道館建築の際には、議員立法での決議が決め手となりました。私たちも同じ道筋で、衆・参両議院議長に提出する請願署名を集めています。

高比良 神田古本まつりでは区長にもお立ち寄りいただきましたように、当会では、高齢の理事も都内各所のイベント会場にテントを

いて復元が進められたのです。完成した王宮は、市民に大きな喜びと誇りを与え、経済効果も計ります。



江戸城応援隊(忍者隊)



高比良美穂

(たかひら・みほ)

認定NPO法人 江戸城天守を再建する会 理事
一般社団法人 社会応援ネットワーク 代表理事
「子ども応援便り」「がっこう応援便り」編集長
趣味は船旅、映画鑑賞、煎茶道、算命学



江戸城応援隊(太興シスターズ)

また、最近若者の入会が相次いでおります。昨年創設した「女

張って地道に活動を続けています。

世界が不確実さを抱え、国内でも希望となるような話題が必要とされている今、「江戸城天守再建は日本全体の夢だ」と思っ下さる方が多いようです。「頑張ってください」と声をかけていただくことが多く、励みになっています。



鼎談を終え、区役所近くのカフェで苦勞さん会かわら版担当の近藤理事と。

性・青年委員会」の発案で「江戸城応援隊」が立ち上がり、注目を集めています（詳細は4・5頁）。

とくに、江戸城の中屋敷があった紀尾井町にキャンパスを構える上智大学（千代田区）での署名活動が縁で、ユニドル（大学生アイドル）OGメンバーが「江戸城応援隊」に参加するなど、「世代を超えた夢の実現」「社会を元気にする」動きに発展しています。

樋口 それは楽しみですね。千代田区には秋葉原というポップカルチャーのまちもありますし、何にしてもこのプロジェクトには大きな夢があります。応援しています。

NPO 心強いお言葉をありがとうございます。これからも、ご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。本日は、ありがとうございます。

「お城EXPO二〇二五」／イベントステージにて披露

若者のダンス文化とお城再建運動を一体化

二〇二五年一月二〇日〜二一日、「お城EXPO二〇二五」がパシフィコ横浜ノースにて開催。当会は、江戸城ブースを出展して、江戸城天守再建署名の収集と江戸城御城印の販売等を行ったほか、初日一六時からイ

ベントステージにて、江戸城応援隊によるダンスパフォーマンスを披露しました。
男性チーム「忍者隊（筋肉定食）」、女性チーム「大奥シスターズ（上智大ユニドルOG）」の演技を盛り上げる音楽が、続々

江戸城天守を再建するという活動は子供たちや若者に未来への夢を与え社会全体を元気にする取り組みですとお城ファンを引き付けて、開催までもなく三〇〇人収容の会場が埋まりました。

忍者隊

ズのメンバーは、教員を中心にマスコミ業界、観光業界、司法書士、ITベンチャー経営者など多彩な本業を持ち、ダンスパフォーマンスにおいては社会人チームの一軍的位置づけです。

江戸城応援隊の役割

江戸城応援隊は、これまでの「ゲーム好き」「歴史好き」「武将隊」「城・歴史好き」という



大奥シスターズ



忍者隊



ダンスの案内チラシ

江戸城EXPO 2025にやってくる!!

江戸城応援隊が

12月20日 土
16:00-16:30
パシフィコ横浜ノース
1階イベントステージ(お城EXPO会場内)

江戸城応援隊
大奥シスターズ(上智大ユニドルOG)
忍者隊(筋肉定食)

本会会長 三浦正幸
本会副会長 本間貴晴
江戸城を再建した大田実徳の次子
三浦正幸 特別顧問
お城EXPO 特別顧問

江戸城天守再建署名の収集と江戸城御城印の販売等を行ったほか、初日一六時からイベントステージにて、江戸城応援隊によるダンスパフォーマンスを披露しました。



松沢成文・参議院議員がブースにお越しに

入口をさらに広げ、ダンスという若者文化を新しい入口として接続し、城イベントや地域の祭りへの集客を生み出す、全国と各地の城・史跡を結んで活動するグループとして誕生しました。

学校体育では二〇

一二年からダンスが必修化され、二〇二四年パリ五輪ではブレイクダンスが正式競技となりました。この潮流により、ダンスを見る／踊る入口は、子ども・保護者・若者にとって日常化した裾野となり、従来の城・歴史ファン層とは比較にならない規模の広がりを持っています。

その中で今回お城EXPOで披露された江戸城応援隊のステージは、新しい歴史文化の入口だと評され、すでにファンが生まれています。

特に大奥シスターズは、上智大学ユニドルOGチームを母体として編成され、ユニドル全国大会で複数回の優勝実績を持ち、全国のユニドルファンから憧れと支持を集める存在です。

江戸城と全国を結ぶ 逆参勤交代プロジェクト

「逆参勤交代プロジェクト」では、地域に江戸城応援隊が出向いて、それぞれの地元のユニドルチームや若者グループとコラボレーションします。これにより、地域の若者に発表の場・活躍の場を提供し、地元愛を育むとともにイベントへの子ども、若者を中心とする新たな参加者を増やすことに寄与します。

お城EXPO初参加記



「お城EXPO二〇二五」のブース活動を支援するために初めて城郭展示会に参加しました。朝の開場前から長大な待機列が伸び、全国から城郭情報を求めて集う来場者の熱量に圧倒されました。

江戸城ブース前で「江戸城天守閣再建の活動でえす」と声をかけつつチラシやパンフレットを差し出すと、多くの方が笑顔で受け取ってくれます。そこで「衆参両院議長への請願署名で特別立法をうながす取り組みです」と一言添えると、進んで席に着き、丁寧に署名してくださいます。

すでに別の機会に署名済みという方もおり、活動の広がりを実感しました。

署名者用の椅子が四席だけのため、混雑時には順番待ちが生じま

した。その待ち時間を活かし、江戸城再建の意義や課題を、平易に説明しました。

ブースの一角に設けた御城印コーナーは終日賑わい、当会でも多く、デザインの一部は初日で完売しました。パネルの前で立ち止まる方に「御城印をお探しですか」と声をかければ高い確率で購入につながります。

いま、城郭文化を愛する多くの仲間と出会えたことを励みに、令和の世に江戸城天守を再びそびえ立たせる決意を新たにしています。(会員 芦澤慎二)

(編集部注…お城EXPOでは一二〇〇筆にせまる署名を集めました。)

認定NPO法人江戸城天守を再建する会



江戸城ブースにて

江戸文化サロン

歴史散策シリーズ◎第二回

「川越城下町散策」

昨年一〇月一八日(土) 歳
の街で人気の埼玉・川越が一
年で最も賑わう「川越まつり」
当日に、当会特別顧問で作家・
江戸歩き案内人黒田涼さんの
ガイドで会員他一名が参加
して秋晴れで行楽日和の一日
を楽しみました。



天海和尚で有名な
喜多院をはじめ仙波
東照宮、仙波日吉神
社、三芳野神社(通
りやんせ発祥の地)
川越城(富士見橋跡、
本丸御殿、中ノ門跡)
など多くの重要文化
財を、黒田さんの奥
深い解説を聴きなが
らじっくり鑑賞。そ
の後明治一〇年創業
の「吉寅」で焼き焼
き定食をいただきました。
した。

午後は菓子屋横丁、時の鐘、
大正浪漫通り、蓮馨寺と、街
中を巡行する山車を見物しな
がら蔵造りの街並みを歩いた
ところ、中でも太田道灌公の
山車が豪華絢爛で目を引きま
した。大変な混雑ぶりではあ
りましたが落伍者もなく本川
越駅に到着、解散となりました。
(専務理事 木川)

■次回ののご案内

江戸の文化・芸能シリーズ・
浄瑠璃編第一回
「浄瑠璃三味線奏者
野澤松也師匠を迎えて」
日時…2月中旬予定 会場…
未定 お問い合わせ…事務局
「野澤松也師匠プロフィール」
一九九九年、重要無形文化
財総合指定保持者。二〇〇四
年『創作浄瑠璃の会』を設立
し創作浄瑠璃の弾き語りを開
始。二〇一六年、『三味線粹
人JAPAN』を設立。全国
(松竹歌舞伎)にて、演奏す
る傍ら、国立劇場研修生講師、
学習院大学非常勤講師を務め
る。

江戸城クイズ⑦ (かわら版第77号5頁) の解答

出題: 当会理事・塚本一夫

[1]⇒(ウ)

天正年間、摂津国佃村の漁民が、船を出して京へ上る初代家康を助けたことで信頼を得た。彼らが将軍家に献上した魚の余りを売り出したのが、日本橋魚河岸の始まり。

[2]⇒(イ)

江戸開府前、この一帯は隅田川の氾濫地帯で、下流の山谷堀の堤防と併せて「二本の堤→日本堤」とも、日本全国の大名を動員して僅か2ヶ月半で完成させたので「日本堤」とも。

[3]⇒(ウ)

井の頭池を水源として、善福寺川、妙正寺川を併せて関口大洗堰に至る。ここで流れを分岐、一方を水戸藩上屋敷に、余水を江戸城本丸や神田川に流した。

[4]⇒(ウ)

江島は信州国高遠藩にお預けとなり、その地で一生を終えた。相手の山村座の役者生島は三宅島へ遠島、山村座は廃座となり、この事件で1400名以上が処罰された。

[5]⇒(ウ)

目黒周辺を除き、朱色の線(朱引き・御府内)よりも内側(墨引き)は、町奉行の管轄。ただし、寺社地は寺社奉行、武家地は大目付の管理下におかれた。



塚本一夫・理事が
クイズ形式の
江戸文化入門書を
自費出版

『大江戸問答100』を
発売記念価格で
ご案内します。

「江戸城かわら版」に「江戸城クイズ」を連載している塚本理事が、
出題範囲を江戸文化全体に広げた新刊を自費出版しました。
100問のクイズで「江戸の本当の姿」をのぞいてください。
(A5判、96ページ)

お求めの際は、塚本理事へメールでご連絡ください。

→kazuo1.tsukamoto@gmail.com 塚本一夫

税・送料込みで特別価格 1000 円でお分けします。

令和八年度通常総会＋江戸城文化交流会

前回好評だった文化交流会(懇親会)を続けて開催します

【総会】

開催日…二〇二六年三月七日
(土) 会場…プレスセンタービル一〇階ホール

【二時〇〇分】受付開始

お申込み…事務局▼Eメール

info@npo-edojo.org / 電話〇

三・六四二三・一八八二

議題：令和七年度事業報告／決算報告の承認、令和八年度事業計画／予算案の承認等

【二時〇〇分】総会終了

【江戸城文化交流会】

会費…会員九〇〇〇円／非会員一〇〇〇〇円(事前振込)*ア
ラスカの食事・ドリンク付

お申込み…事務局▼Eメール

info@npo-edojo.org / 電話〇

三・六四二三・一八八二

【二時〇〇分】受付開始(会場・同ビル一〇階ホール)

落語…三遊亭金太郎師匠

歌唱…手塚佳代子さん(ソプラノ歌手)

【二時〇〇分】交流会終了

江戸城クルーズを、昨年一月二五日(二時から)実施しました。二年前の六月に実施した第一回と同様、三浦屋(浅草橋)の中型遊覧船「粹人丸」をお借りして、「ちよだの水辺を魅力ある都市空間に再生する会」の岡田邦男理事長の名ガイドを聞きながら開催しました。あいにく小雨の中での観光となりましたが、船から降りる頃には雨もやんでいました。ガイドの豊富な知識と熱弁であつたという間の九〇分となりました。参加した三七名が東京が江戸時代から水の都であった歴史を実感することができました。今後は要望に応じて企画してまいります。

第二回「江戸城クルーズ」実施

江戸城が水上都市であったことを水路から見上げて確認



和泉橋防災船着場からスタート

新作能「小栗」への私の想いを聞いてください

令和八年十一月十三日、横須賀にて初演 観世流能楽師 清水義也

皆様こんにちは。新作能「小栗」の作者、観世流能楽師の清水義也です。

がこの能に深い思いを込める理由でもあります。

私が目指すのは、単なる顕彰ではありません。明治以降、新政府側の史観に偏りがちな幕末の歴史を、もう一度正しい目で見つめ直したいのです。江戸時代は二百六十余年にわたり平和を保ち、教育・芸術・礼節・技術のすべてにおいて、人と自然が調和した素晴らしい時代でした。その精神の延長にこそ、今日の日本文化があります。

令和八年十一月十三日、横須賀にて新作能「小栗」を初演いたします。小栗上野介忠順——幕末の混乱の中で、日本の近代化に命を賭して尽くした人物です。彼が築いた横須賀製鉄所はいまも海風の中にその志を伝えていきます。

実は私の先祖・戸田勝強は、小栗上野介の幼なじみにして親友であり、ともに理想の国づくりを語り合つたと伝えられています。その縁が、私

新作能「小栗」は、私の映画企画を応援する目的で作っていただき、来年の大河ドラマ化が決定する前から生誕二〇〇年である二〇二七年の上演を目指してきました。(会員 堀早百合)

当年でも清水義也さんの講演会を実施する予定です。決まり次第ご案内します。

「江戸城かわら版」編集部

心に残ることを残します。小栗が妊婦の妻を逃がし、自らは斬首される——その静寂の中に、武士の覚悟と家族への愛、そして弔いの心が宿ります。この能を通じ、日本人の原点である「祈り」と「絆」を取り戻していただければ幸いです。

横須賀での初演を皮切りに、高崎など各地での上演も計画しております。Zoomなども通じて多くの方と語り合いながら、「江戸のこころ」を現代に甦らせる旅を歩んでまいります。

小栗と深い縁のある清水義也さんが小栗への鎮魂の想いを込めて新作能「小栗」を作りました。今年、来年にかけて高崎・横須賀など小栗と縁のある地での上演準備を進めております。十一月三日(金)に横須賀芸術劇場大ホールでの初演が決定しております。

新作能「小栗」とは

小栗と深い縁のある清水義也さんが小栗への鎮魂の想いを込めて新作能「小栗」を作りました。今年、来年にかけて高崎・横須賀など小栗と縁のある地での上演準備を進めております。十一月三日(金)に横須賀芸術劇場大ホールでの初演が決定しております。



小栗の妻の霊(左)と小栗忠順の霊

歴史に残る名城の天守

第34回 水戸城天守(三階櫓)

三浦正幸
広島大学名誉教授
当会特別顧問

天守を許可されなかった 水戸城

太平洋戦争で喪失した天守は、五重の広島城・岡山城・名古屋城・福山城、四重の大垣城、三重の和歌山城と水戸城、合わせて七棟であった。残っていたば現存最古の五重天守だった広島城と岡山城、全国最大の天守の名古屋城、独創性で史上最高の水戸城といった錚々たる著名天守が失われた。それらの天守は戦後に鉄筋コンクリート造で再興されているが、水戸城だけは再建されていない。

昭和二十年に米軍の空襲によって焼失した水戸城天守は、江戸時代の絵図や記録には「御三階」と記された天守代用の三重櫓だった。しかし、その規模の壮大なことからすれば実質的に天守であった。したがって本稿では「天守」と記しておく。その水戸城天守の前身となった初代の高層櫓の創建は、寛永年間(一六二四〜四四)に水戸徳川家初代の徳川頼房が行った水戸城の大改修の時期とされる。

戦災焼失した二代目の水戸城三階櫓が天守と呼ばれなかった理由の一つは、元和元年(一六一五)に武家諸法度が公布された時点で、水戸城に天守がなかったことである。武家諸法度では、新規の構営を堅く禁じていたので、新たに城の象徴となるような天守を創建することは、特別な事情がない限り幕府は許可しなかったのである。徳川御三家の居城であつても例外ではなかった。もう一つの理由は、徳川將軍の水戸城が所在する関東では、特に天守の創建が忌諱されていたからであろう。

元和以前に建てられた沼田城(群馬県)天守は法度に縛られていないが、関東における元和以降の公式な天守創建は、小田原城を例外として他にはなかった。天守の創建が元和元年に間に合わなかった城が多くある関東や東北地方では、武家諸法度の建前上では天守の創建は認められなかったが、天守と同等以上の三重櫓を天守代用櫓として建て、それを「御三階」や三重櫓と呼ぶことで便法として許可さ

れた。その例が佐倉城(千葉県・古河城(茨城県)・忍城(埼玉県)などであった。

ところが、徳川頼房によって創建された初代水戸城の高層櫓は、城郭建築の三重櫓ですらなく、御殿建築に類する高層の楼閣建築だったらしく、当時は「三階物見」と呼ばれた。それに類するのは、会津若松城の本丸御殿内に建てられていた三階櫓楼閣(城外に移築現存)であつて、城郭建築には全く見えない優雅な御殿建築である。

その水戸城の初代高層建築である三階物見は明和元年(一七六四)に焼失し、明和六年に二の丸御殿の南背面の平地に再建された。三重櫓五階の層塔型天守で、天守台はなかった。なお、水戸城の中核は本丸ではなく、御殿が設けられていた二の丸に移っていた。

史上第一の 創意に満ちた天守

水戸城天守の設計図である「御三階御絵図」(建地割図、断面図の一種)によると、一階か

ら三階までは六間(六尺五寸間で、約二メートル)四方の正方形平面であつて、その三階分をまとめて一重目の屋根を架ける。そこから上重は通減して、四階(二重目)は四間四方、五階(三重目)は三間四方となる。

屋根は各重ともに銅瓦葺であつた。なお、江戸時代の表記では、「階」は外観の屋根数を表す「重」のことが多く、この場合でも三階櫓は三重櫓の意である。

水戸城天守は最上重以外に破風が全くなく、典型的な層塔型天守である。初期の今治城・小倉城などの層塔型天守には、最上重を除いて飾りの破風は全くなかったが、間もなく多くの破風で飾られるようになった。それに対して水戸城天守は、江戸時代後期と再建年代が新しいが、初期の層塔型天守の形態を再現している。

一階が六間四方という規模は、現存する公式な三重天守である宇和島城天守と同じであるが、三重三階の宇和島城天守と比べて三重五階の水戸城天守は遥かに高かった。「惣高六丈五尺程」と建地割図に記載されており、高さは約一九・七メートル(宇和島城天守は一五・八メートル)もあった。公式には三重櫓だった丸亀城天守と弘前城天守の一階は、平六間に妻五間であつて水戸城天守より小規模である。規模からすれば、水戸城の御三階は紛れもない公式天守だったのである。なお、慶長七

年に天守を焼失した金沢城では、天守の代用に「三階御櫓」を建てており、水戸城天守と同じ三重五階であつたが、その一階は五間四方しかなく、かなり小さかった。

水戸城天守の第一の独創性は、三階分をまとめて一重目の屋根を掛けることである。小田原城天守が二階を一重目としてはいるが、一重が三階分は類例がない。そして、その高い一重目の外壁が風雨で傷まないように、その半分の高さ、すなわち一階半までの高さを海鼠壁としている。土壁の下部を風雨から保護するためには、下見板張にするのが一般的であるが、それを高級にしたものが海鼠壁である。そこで注目されるのは、今はなき金沢城の三階御櫓である。三重五階の櫓で、その一重目は二階分の高さがあり、その外壁は海鼠壁だった。しかも、海鼠壁の最下部には、地面に接して窓が開かれており、その点は水戸城天守と全く同じであつた。また、水戸城天守が再建された江戸時代後期には、江戸府下に存した大名屋敷の周囲に一重二階の長屋(多門)が建てられており、特に高禄な大名家だった細川・黒田・尾張徳川などはその外壁の一階分を海鼠壁にしていた。水戸徳川家上屋敷の長屋も残されている絵図からすれば、一重二階の海鼠壁であつたことが分かる。水戸城天守一階に背の高い海鼠壁が使わ

れていたのは、風雨対策という実用性と当時の江戸の大名屋敷での流行だったと考えられる。

次に注目されるのは、一重目の外壁上部の仕上げである。白漆喰の塗籠であるが、柱形を外に表す真壁造である。防火や防弾の性能からすれば外壁は厚い大壁造が優れ、水戸城天守では二重目と三重目が大壁造である。格式は真壁造が高く、大壁造は低い。姫路城大天守や犬山城・丸岡城の天守では最上階を真壁造、下階を大壁造として、最上階の格式を高めているが、水戸城天守では正反対に下階の格式が高く、上階の格式が低い。水戸城天守のような上下逆の例は、福山城伏見櫓しかない。水戸城天守の場合では、二の丸の城壁(土居)から少し引いて建てられ、しかも天守台石垣もなかったため、一重目の外壁は土堀や多門櫓に隠れて城外からはほとんど見えず、防弾の必要がなかったからであろう。二重目以上は外から見えて砲撃のおそれ虞があり、厚い大壁が採用されたらしい。なお、一重目が高いのは、城外から二重目以上が見えるようにする工夫と考えられる。

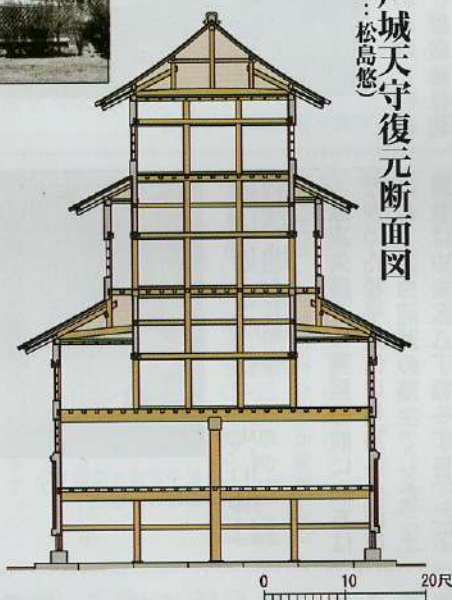
水戸城天守は窓の形式にも特異性が見られる。一重目の上部である三階では、壁を全く設けずに、格子窓を連続させていた。そのような類例は全くない。三階の入側には、天守建築としては異例なことに天井を張ってお

り、三階内部を御殿の一種として扱っていたためらしい。また二重目と三重目の四方に開かれた窓は、中央一間は両開きの土戸を外開きに設け、その両脇間は半間幅の格子窓の内側に引戸を設けていた。水戸城天守に独特な窓形式である。特に外開きの土戸の窓は、天守には例がない。

一本だけ立てて二階天井までの通柱とし、二階の床はその周囲に立てられた十本の柱で支えていた。しかし、二階内部にはこの牛請柱がなく、その頂部に極めて太い牛梁を渡して、その牛梁に三間の長さの梁を左右から架け渡して三階の床を支えていた。このような豪快な構造は他の天守には見られないもので、六間四方の大空間をたった一本の太い柱でもたせた奇抜な構造だった。

内部の構造も極めて個性的で、一階は総て土間であった。西尾城天守(愛知県)の例はあるものの、天守としては珍しい。その中央に太い柱(牛請柱)を

水戸城天守復元断面図
(復元：松島悠)



水戸城天守(戦災前)



続きは
動画を
チェック!

日本の建築史を専門とする
広島大学名誉教授／三浦正幸博士の
江戸城の解説動画をこちらから
ご覧いただけます。



江戸城クイズ⑧

「江戸城クイズ」第8回です。
今回も難題です。
奮って挑戦してください。

1—江戸の華美な風潮に染まり、家督を継いだ後も、乱暴狼藉がおさまらなかった旗本奴の頭目は。

(ア) 大久保彦左衛門 (イ) 根岸鎮衛 (ウ) 水野十郎左衛門 (エ) 幡随院長兵衛
2—武士道とは死ぬことと見つけたりで知られる「葉隠」は、赤穂浪士の討ち入りについて何と書いているか。

(ア) 見事な義挙 (イ) 時間をおかずに討ち入るべき (ウ) 軽挙妄動 (エ) 記述は無い

3—第6代家宣が、幼少の世嗣家継が成長するまで後継将軍に考えていたのは。

(ア) 尾張家徳川吉通 (イ) 紀州家徳川頼方 (ウ) 水戸家徳川綱條 (エ) 田安家徳川宗武

4—文化4年(1807)、祭礼に詰めかけた群衆の重みで崩落したその橋とは。

(ア) 千住大橋 (イ) 両国橋 (ウ) 新大橋 (エ) 永代橋

5—明治10年(1877)箱根で療養中だった静寛院宮が亡くなった。その死因とは。

(ア) 麻疹 (イ) 脚気 (ウ) 疱瘡 (エ) コロリ



中之門を入ると右手にある、位の高い与力や同心が詰っていた本丸に最も近い大番所

*解答は次号でお知らせします。第7回の答えはP6に掲載しました。出題▶当会理事・塚本一夫(江戸文化歴史検定一級/日本城郭検定一級)

黒田 涼の江戸 東京 歴史講座

NHK・大河ドラマ「べらぼう」歴史散策

作家 江戸歩き案内人
黒田 涼
当会特別顧問

「最終回」登場人物ゆかりの地

昨年のNHK大河ドラマ「べらぼう」ゆかりの地巡り。放送は終わりましたが、ご紹介しきれなかった主要人物ゆかりの地をご案内いたします。

隣同士だった田沼意次と一橋治済の屋敷

まずは前半の準主役だった田沼意次の上屋敷ですが、現在の東京消防庁、日本経済新聞社、JAのあたりにありました。なんと敵役、一橋家の隣です。旧東京国税局前に解説板があります。失脚後は飯田橋一丁目、現在の東京大神宮の近くに移り、小さくなりました。田沼移転後の屋敷は一橋家に取り込まれます。

ドラマでは悲惨な末路を辿った一橋治済の屋敷は、丸紅あたりから隣のKKRホテルあたりでした。田沼邸を飲み込んで拡大し、幕末まで維持されます。丸紅の本社ビル建て替えて発掘が行われ、社屋前に遺物も展示され、解説板もあります。

ドラマでは、治済の陰謀で意次の嫡男意知を江戸城中で襲撃したとされた、佐野善左衛門政言の屋敷は麹町にありました。麹町は江戸城警護の大番組の屋敷が立ち並



佐野政言屋敷跡の解説板

庭園好きの松平定信邸は旧築地市場跡

意次失脚後に篤重の前に立ちのだった松平定信は福島県白河市にあった白河藩の藩主でした。上屋敷は中央区八丁堀一丁目、二丁目に八重洲通りにまたがって広がっていました。定信の後裔は幕末には桑名藩となっており、朝敵桑名の名残は全く残っていません。

白河藩の有名な下屋敷に浴恩園があります。現在の築地市場跡の中心部に広がっていた名庭園です。市場があった頃は場内や大江戸線駅出入口付近にプレートが設置されていましたが、現在は撤去されています。

再開発などせず、発掘した庭園を復元して欲しいもので、そのような運動もあるようですが、今となっては難しいでしょうか。この庭園を作ったのが定信です。この



松平定信が造園した海荘の解説板

ように定信は無類の庭園好きなのですが、一か所だけ解説板があります。木場にあった「海荘」跡です。門前仲町、木場方面から大横川を渡る東富橋の南東詰に掲げられています。屋敷はこの南側に広がっていました。そして定信の墓は門前仲町の北方、清澄白河の霊巖寺にあります。

変人同士仲が良かった馬琴と北斎

終盤、耕書堂の手代となって異様な存在感を放っていた滝沢瑣吉は後の曲亭馬琴です。篤重らの世話で商家の婿となった後執筆に専念し、名作を次々と出します。生まれたのは深川にあった旗本邸で、家臣の子として生まれます。現在は江東区深川ふれあいセンターがあり、その前に記念碑があります。

婿入りした商家があった場所はマンションとなっており、関東大震災まで残っていた井戸を復元した坪庭が「滝沢馬琴硯の井戸跡」と称してエントランス前にあります。

のちに作家として成功すると現在の千代田区立昌平小学校前に転居し、八犬伝などを執筆します。晩年はさらに現在の信濃町駅前に移り、そこで亡くなりました。墓は茗荷谷の深光寺にあります。

ドラマでも馬琴と競い合うような異様さだった勝川春朗、のちの葛飾北斎ですが、馬琴とは「椿

説弓張月」の挿絵を描くなど仲が良く（変人同士？）、一時北斎が馬琴の家に住んでいたこともあるようです。

その北斎の生誕地などははっきりしませんが、墨田区の緑町公園には「だいたいこのあたり」という意味で生誕地の解説板があります。生涯転居を繰り返した北斎の住居跡はほぼ不明ですが、両国駅南にある榛稲荷の境内にあったという家は絵に描かれて確かな場所、解説板があります。（終）



滝沢馬琴生誕地のモニュメント

※次回（春季号）からは「江戸の大名屋敷を訪ねる」を連載します。





会員のひろば

**投稿、提案、
当会イベント情報などを
随時掲載します。**

嶋 文子 (東京都)

21世紀の朝鮮通信使友情ウォークの会に入っていました。江戸時代は国書をお渡しする時は江戸城でした。今は何もないので、韓国の方に申し訳ない気持ちがありました。立派な天守閣を再建して日本の伝統と文化のシンボルになって欲しいです。

八幡 静 (神奈川県)

もともと日本史が大好きで筋金入りの歴史女です。そして最も尊敬する人物が徳川家光公であり、その生涯や理念・哲学に深く感銘を受け、人生の節目で何度も励まされてきました。

今回、家康公の孫である徳川家光公が築いた江戸城天守閣の再建という歴史的意義のあるプロジェクトに心を動かされ、ぜひ一員として関わりたいと思います。江戸城再建が日本の観光や文化の発展に寄与するだけでなく、歴史に興味を持つきっかけとなり、先人の知恵に学ぶ人が一人でも増えることを願っております。

藤田 利彦 (東京都)

大先輩からお誘いがあり入会しました。江戸文化などにも興味があります。よろしく願います。

河合 道広 (愛知県)

数年前に大宮宮参観ツアーに参加させて頂きました。江戸城の御城印を頂く目的でしたが、その時に初めて江戸城の天守再建を目指す会があるという事を知りました。私は名古屋市内に住んでおり、今回名古屋城と犬山城を巡るイベントに参加させて頂いた事をきっかけに入会しましたが、江戸城の天守が再建されることになれば、まさしく国の宝になると思いますので、機会があれば出来るだけイベントに参加するなど協力していきたいです。

江戸城天守を 再建する会 入会案内

会 長：太田資暁 (太田道灌公18代子孫)
理事長：島田昌幸 (テレビ東京特別顧問)
年会費：正会員 (個人) 10,000円
正会員 (法人) 100,000円
賛助会員 (個人) 3,000円
賛助会員 (法人) 30,000円

入会手続 (以下の方法で会費をご入金ください)

- 1 ホームページ (クレジットカード)
 - 2 ゆうちょ銀行・払込取扱票
- ▶詳しくは当会事務局へお問合せください。

事務局 からの お知らせ



「請願署名」に ご協力ください

一万筆の請願署名を今年度の目標としています。

会員の皆様には、ご家族、ご友人の皆様にも、この請願署名へのご協力をお願いしていただきます。

新規会員の勧誘にご協力を

当会の活動は主として正会員、賛助会員の会費によって運営されています。本年も新入会員二〇〇名を目標としています。ご協力ください。

住所変更届けのお願い

ご住所・電話番号などが変更した場合、ファクスや電話で早めにご連絡ください。会からのお知らせが届かなかつたりします。

メールアドレス 登録のお願い

メールアドレスをお持ちの方は事務局にメールをお送りください。イベント等の情報をお届けします。

会費納入のお願い

それぞれの会員の皆様の「ご入会前月に次年度の「会費納入のお願い」をお送りしています。ご協力のほどお願い申し上げます。

年会費納入法

◆年会費カード決済
会費納入や寄付金の決済は、クレジットカードにも対応しています。カード決済ご希望の方は、当会ホー

ムページからどうぞ。

自動継続をご希望の方は、HPの「カードによる継続会費のお支払い」からお手続きください。

◆年会費自動払込 (ゆうちょ銀行)

当会では、ゆうちょ銀行口座からの年会費自動払込を行っています。ぜひご協力ください。ご希望の方は事務局までご連絡ください。

新規入会の皆様、 歓迎します

●新規入会 令和七年九月一日～令和七年十一月三十日
入会順 三十八名

ご寄付くださった皆様、 ご協力ありがとうございました

●寄付者 令和七年九月一日～令和七年十一月三十日
五十音順 八十六名 (匿名希望二名)



LINE友達登録の
お願い



〒101-0065
東京都千代田区西神田
2-5-7-505
E-mail = info@npo-edojo.org
事務局長 / 浅井純一、山本りか